

## 災害時、ドローン活用 可児市とロボッツが協定



ドローンを活用した災害支援協定を結んだ石田宏樹社長(右)と富田成輝市長＝可児市役所

大規模災害に備えて可児市はドローン事業者「ROBOZ(ロボッツ)」(名古屋、石田宏樹社長)と災害支援協定を結んだ。ドローンを活用して、市内の被害状況の把握や行方

不明者の捜索、孤立集落への物資輸送に迅速な災害対応をするのが目的。同様の協定を結んだのは県内では恵那、美濃、海津、瑞浪の各市に続いて5例目。締結式は市役所であり、

富田成輝市長は「ないに越したことはないが、南海トラフといった巨大地震など災害はいつ起こるかわからない。力を貸してほしい」とあいさつ。石田社長は「機材と大半の人材は美濃市に置き、暗視カメラやライト、スピーカー付きのドローンも保有している。備えは万全」と話した。(中村芳紀)